

gakugei@nnn.co.jp

ドッグトレーナーに聞く 犬のしつけ方

「しつけ」とは、人間社会で共に暮らすためのルールを犬と共有することです。だから時々社会や文化で変わる。例えば僕がドッグトレーニングを学んだカナダは一部オフ

新型コロナウイルス禍で在宅時間が増え、犬を飼い始める人が増える一方、「しつけが大変」などの理由で手放す人は少なくない。「しつけ」るには、本来は犬とのコミュニケーションが不可欠のはず。「飼い主も犬から学ぶ」ことを提唱する「ヒューマン・ドッグ トレーナー」の須崎さんに、犬と良い関係を結ぶこつを聞いた。



みんなでお散歩。ペースを合わせて歩くのも重要なトレーニング。横断歩道が赤信号だと、座って待つように指示を出す

たためのルールを犬と共有することです。だから時々社会や文化で変わる。例えば僕がドッグトレーニングを学んだカナダは一部オフ

心に着目し、向き合つて

観察と試行錯誤の繰り返し

教えて!
達人
くわし
Up
術

リード（手綱無し）が認められている。そういう国では、一番大事なコマンド（指示）は『呼び戻し』。オフリードが認められていない日本でこのコマンドが必要になる場面は非常に少ない。日本の飼い主の多くが

ルールを犬が理解できるよう、飼い主が最初に困らせようと決して思っています。

すずき・だい 1975年生まれ、宮崎県出身。カナダでドッグトレーニングを学ぶ。人と犬が共生する社会を目指し、家庭犬の出張型トレーニングを行なう「ドッグシップ」を2003年設立。監修書に「くんくんゲーム 愛犬と楽しく遊びながらトレーニング！」など。



「犬との暮らしは自分を知ること、自分との対話。まずは自分の犬をよく見てあげて」と話す須崎さん=東京都港区の「ドッグシップ」

嗅覚を刺激して楽しく

犬との関係づくりのために須崎さんが取り入れているのが、犬の嗅覚を刺激する「セントトレーニング」だ。

災害救助犬や麻薬・爆弾の探知犬などの活躍で知られる通り、犬の嗅覚は人間の100万倍とも言われる。嗅覚を使う仕事をさせることは犬の脳を活性化させ、精神的な安定ももたらすという。セントトレーニングは、その効用を家庭犬に応用したものだ。

最も簡単な「初心犬」向けの方法を須崎さんに教えてもらっ

た。
①小さなおやつを準備する。ドッグフードの粒などでもよい
②おやつの上から紙コップを伏せて置き、「待て」の指示を出す
③手で合図を出しながら「サーチ（探し）」と声を掛ける
④おやつを見つけたら褒める
⑤慣れてきたら紙コップを増やし、どれに入っているか、においを頼りに探せる。

須崎さんは「大好きな行動に飼い主が関わることは犬には大きな喜び。愛着が強まります。子どもが、自分の得意なスポーツを親と一緒にやってくれると喜ぶのと似ています」と話している。



「この人は信頼できる」「一く過ごそつかな」という気緒にいると楽しい」と思われるよう、飼い主も「この思います」子（犬）どうやって楽し

(月1回掲載)

も活用していました。モデルさんの装いが決まらないとき、この私物のコンバースが決め手となることがあります。例えば、ブルーの濃淡で合わせた7分袖のVネックセーターとインナーのタンクトップ、ボトム

「何か物足りない」と感じたときの決め手は、コンバースのスニーカー。若々しい印象に



脇役。高級ブランドも一斉にスニーカーを売り出しているくらいです。コーディネートに磨きを服装の決めごとにどうかけて、毎日を気持ちよい時代は終わりました。エレガントなワンピースにはヒールのシューイネーター」
(ファッショナード)

住宅のトラブルに関する

弁護士会と住まいのダイヤルが連携して実施

鳥取県弁護士会

弁護士と建築士による

専門家相談

原則
無料

& 紛争

くらし

教えて!
達人くらし
UP術
随时掲載

「犬との暮らしは自分を知ること、自分との対話まずは自分の犬をよく見てあげてと話す須崎大さん」 東京都港区の「ドッグシップ」

犬のしつけ

新型コロナウイルス禍で在宅時間が増え、犬を飼い始める人が増える一方「しつけが大変」などの理由で手放す人は少なくない。「しつけるには、本来は犬との『ミニユニケーション』が不可欠のはず。『飼い主も犬から学ぶ』ことを提唱する「ヒューマン・ドッグトレーナー」の須崎さんに、犬と良い関係を結ぶこつを聞いた。

「しつけ」とは。

「人間社会で共に暮らすためのルールを犬と共有すること」です。だから時々の社会や文化で変わること。例えば僕がドッグトレーニングを学んだカナダは一部オフリード(手綱無し)が認められていました。そういう国では一番大事なコマンド(指示)は『呼び戻し』。オフリードが認められない日本ではこのコマンドが必要になる場面は非常に少ない。日本の飼い主



心に着目 常に観察



すぎ・だい 1975年生まれ、富崎県出身。カナダでドッグトレーニングを学ぶ。人と犬が共生する社会を目指し、家庭犬の出張型トレーニングを行う「ドッグシップ」を2003年設立。監修書に「くんくんゲーム 犬と楽しく遊びながらトレーニング!」など。

の多くが望むのは『待て』です。ほえず興奮せずに待てれば『いい子』でも『興奮しないいい子』が、欧州で狩猟目的に飼われた場合、あまり役に立たないでしょう。つまり基礎になるのは国や文化の違いで、犬の問題ではないのです。

ルールを犬が理解できるよう、飼い主が最初にするべきこと。犬の嗅覚を刺激する「セントトレーニング」だ。災害救助犬や麻薬・爆弾の探知犬などの活躍で知られる通り、犬の嗅覚は人間

く曲げます。左右の手の親指以外の4本の指は、膝の裏側に向って効果が変わるものではありません。押しかけて膝蓋骨の周囲を押します。親指は、その先端が互いに接するように近づいて膝蓋骨の周囲を押します。

次に膝の裏側を触ってみてください。中央部がくぼんでいるのが分かると思います。この膝の裏側のくぼみを、左右の人さし指と中指、薬指をそろえて押します。主に中指の指紋がある部分で押すと良いでしょう。親指は膝の上に置きます。こちらも1回当たり3秒です。3回繰り返してください。

(日本指圧専門学校 教務課長)

けの方法を須崎さんに教えてもらつた。①小さなおやつを準備する。ドッグフードの粒などでもよい②おやつ上の上から紙コップを伏せて置き「待て」の指示を出す③手で合図を出ししながら「サーキ(探せ)」と声を掛け④おやつを見つけたら褒める⑤慣れてきたら紙コップを増やし、どれに入

ります。

須崎さんは「大好きな行動に飼い主が関わることは犬には大きな喜び。愛着が強まります。子どもが、自分が得意なスポーツを親と一緒にやってくれると喜ぶことがあります」

いわゆる「おやつ」をあげておやつで遊ぶ

か。

「おやつは飼い主の魅力を上げるためにツールです。上手に使つたら喜ぶことを聞かせられますか」とよく尋ねられます。

飼い主も「この子(犬)どうや

うか」とよく尋ねますが、人間

で考えるとすぐに分かる。言つこ

とを聞かせられるはずはないので

「この人は信頼できる」と一緒に

いる「楽しい」と思われるよう、

飼い主も「この子(犬)どうや

うか」と喜んでいます。

「おやつで向き合つてほしいと思

います」

一関係づくりは人間同士にも通じます。

「そう思います。常に相手(犬)を見て、向き合つて、試行錯誤を繰り返してほしいと思います」

「お褒美(おやつ)は使いま

す。問題行動はほとんどの場合、人間にとつての「問題」で、犬は重要と思います。飼い主に「どう

したら喜ぶことを聞かせられますか」とよく尋ねられます。

飼い主を困らせようと決して思つていません。もっと天の心に看

う。つまり基礎になるのは国や文

化の違いで、犬の問題ではないのです」

「自分で犬をよく見ることで

「自分の犬をよく見ることで

「自分の犬をよく見ることで</